

祇園祭の京に、ひとときのやすらぎ。各流派のいけばな30作品が集う。

京都府東山区祇園町南端の祇園商店街

京都では祇園祭に「檜扇」をいける伝統があります。「檜扇」はアヤメ科の植物で、夏に色鮮やかなオレンジや黄色の花を咲かせます。良質な「檜扇」が京都府北部の宮津市で生産されています。剣状の葉が重なり合って左右に広がっている形状が「扇」に似ていることから「檜扇」の名前があるようです。古代、「檜扇」には害虫を払い五穀豊穡をもたらすといった、災厄を除く故事が見られるようで、いつの頃からか、疫病を鎮めるために始まった祇園祭の時期に「檜扇」を飾る慣習が根付いたと考えられます。現在も京都の町には、この時期「檜扇」がいけられ、軒先を彩っています。このような伝統から、祇園祭のこの時期にいけばな展を開催しています。

A moment of serenity in Kyoto, home of the Gion Festival.

Enjoy 30 different flower arrangements of the different schools of ikebana.

Kyoto’s Gion Festival has a tradition of flower arrangements of leopard lilies. A member of the iris family, this flower blooms in brilliant colors from yellow to orange in summer. High-quality leopard lilies are grown in Miyazu, in northern Kyoto Prefecture. The flower’s Japanese name is hiougi. The ‘ougi’ in the name literally means ‘folding fan,’ because the plant’s sword-shaped, layered leaves spread outward like a folding fan. In ancient times, the leopard lily was believed to ward off calamities, such as repelling insects to ensure a plentiful harvest. At some point, a custom took root of decorating with the flower during the Gion Festival, which was started to appease the gods and ward off pestilence. Even today, during the Gion Festival, leopard lilies are displayed in front of homes and shops. We also take part in this tradition by hosting an ikebana exhibition.

参加各流派・ご担当先生

★	きょうと みしょうりゅう 京都未生流 松本 司 (まつもと つかさ)	TEL.090-5962-1594
特別展示 <small>(祇園商店街)</small>	Kyotomishoryu / MATSUMOTO Tsukasa	
	創流 140有余年、第四世家元は、花と人の出会いを大切に、受け継がれてきた伝承を現代に生かしつつ「楽しむ花」を信条としています。一人でも多くの人とその楽しさを分かち合いたいと思っています。	

★	せん びいりゅう 専慶流 西阪保則 (にしさか やすのり)	TEL.075-611-0814
特別展示 <small>(四条繁栄会)</small>	Senkeiryu / NISHISAKA Yasunori	
	江戸時代元禄、京都で流祖春軒仙溪によって創始される。伝承された端正なかたちに新しい作風と感性を求め、豊かな気品をたくわえてきました。四季の植物を通じて、絶えず心のやすらぎと個性的なひろがりを専慶流は求めています。	

①	さ が ごりゅう 嵯峨御流 辻井ミカ (つじい みか)	TEL.075-871-0071
	Saga Goryu / TSUJII Mika	
	平安時代、嵯峨天皇が大覚寺大沢池の菊が島で手折られた菊を挿花され、「後世花を生くものは宜しく之を以て範とすべし」と仰せになられたことが源となり、嵯峨天皇の自然といのちを愛する大御心を伝えている大覚寺に華道総司所をおく流派です。	

②	こまつりゅう 小松流 中村凜翠 (なかむら りんすい)	TEL.075-464-3877
	Komatsuryu / NAKAMURA Rinsui	
	京都・衣笠山の麓、小松原を愛した流祖竹胤斎展山が、その地名をとって1933年に「小松流」を創流。四季折々に咲く花の姿を伸び伸びと色彩豊かに表現する作風で、花のある暮らしとその楽しさを提案しています。	

③	みしょうりゅうなかやまぶん ぼ かい 未生流中山文甫会 増田弘甫 (ますだ ひろほ)	TEL.090-3659-8193
	Misyoryu NakayamaBunpo-kai / MASUDA Hiroho	
	未生流二〇〇年の歴史がある「格花」や、現代生活に合った多様な花型の「新花」があります。好きな花や、葉・枝・器をどう選ぶかで、個性が表現されます。常に「新しいことに挑戦する精神」を持った流派です。	

④	きょうふうりゅう いけばな京風流 小嶋範彦 (こじま のりひこ)	TEL.075-612-7728
	Ikebana Kyofuryu / KOJIMA Norihiko	
	花祖は禁裏御所御用の折、楓(かえで)を挿けて号を賜ったと伝わる。先代家元・小嶋京楓が1975年に流派として確立。古典から現代花まで、おおらかに、その場の風情や空気に応じて活ける「今様いけばな」の在り方を追求しています。URL http://www.instagram.com/ikebanakyofu/	

⑤	そうげりゅう 草月流 森英琴 (もり えいきん)	https://www.sogetsu.or.jp/
	Sogetsu / MORI Eikin	
	いつでも、どこでも、だれにでも　草月のいけばなは「型」とらわれることなく、常に新しく、自由にその人の個性を映し出します。そして、どのような素材を使ってもいけられるのが草月流。いけ手の自由な思いを花に託して、自分らしく、のびやかに花をいけていきます。	

⑥	いけのぼ 池坊 菊地栄美子 (きくち えみこ)	TEL.075-231-4922
	Ikenobo / KIKUCHI Emiko	(一般財団法人 池坊華道会)
	華道家元池坊は、聖徳太子が創建した紫雲山頂法寺(六角堂)から始まり、初代住職の小野妹子から数えて約1400年の歴史があります。花をいけること。花を美しいと感じること。それは自然を大切にし、人を想う気持ちにつながる、池坊いけばなの精神そのものです。	

⑦	みしょうりゅう 未生流 竹田初美甫 (たけだ はつみほ)	TEL.080-4482-7823
	Mishoryu / TAKEDA Hatsumiho	
	未生流は、江戸後期文化年間に流祖・末生斎一甫によって創流されました。格花、新花二つの様式があり格花は現代も生き続ける流祖の精神と花形が伝承されています。新花は新しいいけばなの創造を目指すものです。	

⑧	とうふくじ みしょうりゅう 東福寺未生流 井田益甫 (いだますほ)	TEL.075-572-2882
	Tofukujimishoryu / IDA Masuho	
	京都東山にある東福寺を家元として、京都・大阪・兵庫に支部をおき活動しています。「華禪一味」を流の心としての「古典花」、時代の新風を取り入れた「現代花」を中心にあらゆる表現を探索している流派です。	

⑨	えんしゅう 遠州 芦田一春 (あしだ いっしゅん)	TEL.077-575-4488
⑩	Ensyu / ASHIDA Issyun	
	小堀遠州を流祖とし、1812（文化9）年初世貞松齋一馬が「衣の香」口伝抄を刊行、流を確立、発展させた。現代に伝わる伝統流派の一つであり、その美しい曲線美は日本のいけばなの代表的なものです。	

⑪	ちゅうりゅう 東山流 宮本花抱 (みやもと かほう)	TEL.0774-72-0918
	Koshuryu / MIYAMOTO Kaho	
	華道甲州流は明治三十五年正月、大和郡山城旧柳澤藩士野村静吾が聴松庵拈華一世として創設以来、第六世に相伝され大和郡山で育った華道流派であります。流名は柳澤ゆかりの甲斐守兜山公にあやかり流派名を甲州流と名付けました。「格花」「投入れ」を基本に、「自由花」「盛花」等あらゆる花に取組んでいます。	

⑫	つきのみ みしょうりゅう 月輪未生流 平林朋宗 (ひらばやし ともそう)	TEL.075-531-7676
	Tsukinowamishoryu / HIRABAYASHI Tomoso	
	昭和初期の創流。東山の月輪山にある皇室の菩提所、泉涌寺靈明殿への献花に始まり、古典花をはじめ、現代感覚の盛花、投げ入れ花、自由花などがあり、品性あふれる、優雅な精神に基づいたいけばなを追求する。	

⑬	みしょうりゅうささおか 未生流笹岡 笹岡隆甫 (ささおか りゅうほ)	TEL.075-781-8023
	Mishoryusasaoka / SASAOKA Ryuho	
	1919年、笹岡竹甫が創流。花の設計図にあたる寸法表を用いた理論的な教授方法により「理論派の華道」。また、かきつばたを流花とすることから「かきつばたの笹岡」とも呼ばれる。www.kadou.net	

⑭	くさかべりゅう 日下部流 日下部一如 (くさかべ いちにょ)	TEL.090-8195-6531
	Kusakaberyu / KUSAKABE Ichinyo	
	1966年創流。型にとらわれず、自然の枝振りに応じて自由に生けられる「真華」を創始した。人間が本来持っている感性を生かす花、老若男女を問わず、いつでも、どこでも、誰でもが自由に楽しめる花を目指す。	

⑮	いっこうりゅう 一光流 梅田一茜 (うめだ いっせん)	TEL.0743-59-2063
	Ikoryu / UMEDA Issen	
	四季折々の草・木・花の美を真剣に見つめ、どのような場所に飾っても調和する様、たえず研鑽し続けています。また、その花たちをよく知るために一光流一筆画も提案いたしております。	

⑯	くわらせん びいりゅう 桑原専慶流 桑原仙溪 (くわらは せんけい)	TEL.075-221-2950
⑰	Kuwaharassenkeiryu / KUWAHARA Senkei	
	野に咲く花のあるがままの美しさを器にうつしとりたいという気持ちから桑原専慶流のいけばなが生まれました。三百数十年の歴史の中で、知的な気風に品格がそなわり、花の姿を優雅に表現します。	

⑰	ほうふうえんしゅうりゅう 峰風遠洲流 平尾照峰 (ひらお きょうほう)	TEL.06-6621-1623
	Hofuenshuryu / HIRAO Kiho	
	小堀遠州公の流れを頂き師ゆかりの地近江に大正12年創流。流祖口伝の挿花を基礎とし、古典花から自由花に至る迄「真・善・美」を追求。伝統を重んじつつ時流にあったいけばなに取り組んでいます。	

⑰	らくりょう みしょうりゅう 洛陽未生流 山中 樹 (やまなか みき)	TEL.075-862-7786
	Rakuyomishoryu / YAMANAKA Miki	
	明治36年創流。昭和末期より花形を理論的に系統化、平成以降は新たな視覚表現による現代花や小品花等、私たちの今生きる、その「時」人の「心」を大切に、いけばなを追求しています。	

⑳	みやこみ しゅうりゅう 都未生流 大津光章 (おおつ こうしょう)	TEL.075-761-8166
	Miyakomishoryu / OTSU Koshu	
	知恩院華頂宮の華道御指南役、藤木月亭光信により天保6年京都にて起る。昭和24年各種学校都華道専門学院を設立、「いけばな文化」を中心に「いのち」をキーワードにした、花の文化集団を目指しています。	

㉑	とうざん みしょうりゅう 東山未生流 本多栄甫 (ほんだ えいほ)	TEL.075-451-8327
	Tozanmishoryu / HONDA Eiho	
	西陣の地にある慧光山総本山本隆寺三〇世日東上人を流祖と仰ぎその中から取った「東」と「山」から東山未生流と称し江戸時代後期創流。未生流の流れをくみ華道を通じた人格形成と精神鍛錬を掲げ正華盛花投入意匠花等古典を軸に現代いけばなをも探求しています。	

㉒	しょうげつどう ごりゅう 松月堂古流 植松赏月 (うえまつ しょうげつ)	TEL.075-721-0515
	Shogetsudokoryu / UEMATSU Shogetsu	
	松月堂古流のいけばなは、自然を厳しく観察することに始まり植物本来のあるべき姿を探究することでより美しく表現しよう心がけています。生花・現代花・流麗花など様々なスタイルでいけばな的美をお伝えする努力をしています。	

㉓	お ほうりゅう 小原流 赤尾牧子 (あかお まきこ)	TEL.090-8236-2901
	Ohararyu / AKAO Makiko	
	西洋文明の入って来た明治、彫刻家でもあった初代小原雲心が水盤に花を飾る“盛花”を創案。現五世宏貴家元は、花瓶・文人調・琳派調・花舞・花意匠等を追求。現代空間にふさわしいいけばな花奏(はなかなで)を創案。	

㉔	き どうりゅう 喜堂未生流 杉崎翠山 (すぎさき すいざん)	TEL.075-711-2255
	Kidoumishoryu / SUGISAKI Suizan	
	自然の法則に基づき植物の生い立ちを学び、清心を受け継ぎ伝統ある花形から時代に合わせた自由花を表現し、いけばなを楽しむ流儀であります。暮らしにいけばなをと、体験や見学も行っています。展示等のご依頼も受け付けています。お気軽にこちらからお申し込みください→https://www.kidou-mishoryu.com	

㉕	か どうほんのうじ 華道本証寺 中野天心 (なかの てんしん)	TEL.075-222-1232
㉖	Kadohonnoji / NAKANO Tenshin	
	立華創成期の名手 大庄院以信を流祖と仰ぐ。陰陽思想を駆使し、classic & modernをミニマリズムに表現する。今を生きる花を。	

㉗	ほそかわ みしょうりゅう 細川未生流 岡本友輝甫 (おかもと ゆうきほ)	TEL.075-231-0701
	Hosokawamishoryu / OKAMOTO Yukiho	
	創流は文化・天保年間に遡るが、口伝として伝承を続けた精神・技法を細川未生流として十九世紀末に発表。当流では、生花を基本に、投げ入れ、盛花、またお茶花など、現代の生活文化に根ざしたいけばなを提案している。	

㉘	おむろりゅう 御室流 野々田美水 (ののた びすい)	TEL.075-463-1095
	Omuroryu / NONODA Bisui	
	世界文化遺産仁和寺を家元とする流派で、開山宇多天皇(寛平法皇)を流祖と尊崇申し上げています。古典技法の伝承と盛花、投入花、創作花の自由ないけばな表現の道をも開き、いけばなを通して豊かな感性の涵養と人のあるべき道を求める心を伝えています。	

いけばな展示店一覧

特別展示 (祇園商店街)	
★ 京阪電車 祇園四条駅	
京阪ツーリストインフォメーションセンター祇園四条前	
Keihan Railway Gion-shijo Sta. Keihan Tourist Infomation Center Gion-Shijo	

特別展示 (四条繁栄会)	
★ 京都高島屋 S.C.(百貨店) 1F ゆとりうむ	
Kyoto Takashimaya S.C. 1F YUTORIUMU	
[営業時間] 10:00～20:00 TEL.075-221-8811	

祇園商店街・北側	
① 京寿司 いづ重	[営業時間] 10:30～18:30
Izuju	TEL.075-561-0019

② 家傳京飴・茶房 祇園小石	[営業時間] 10:30～17:00
GionKoisi	TEL.075-531-0331

③ かざし・椿油 かづら清老舗	[営業時間] 10:00～19:00
Kazurasei	TEL.075-561-0672

④ 和風のあかり 三浦照明	[営業時間] 9:00～17:00
miura shomei	TEL.075-561-2816

⑤ 薫香・線香・念珠 豊田愛山堂	[営業時間] 10:00～18:00
Toyodaaisandou	TEL.075-551-2221

⑥ 和菓子・茶房 鍵善良房	[営業時間] 9:30～18:00
Kagizen Yoshifusa	TEL.075-561-1818

⑦ 呉服・細貨 むら田 本店	[営業時間] 11:00～17:00
Murata Honten	TEL.075-551-3456

⑧ 手拭 永楽屋細辻伊兵衛商店 祇園店	[営業時間] 11:00～22:00
Eirakuya Gion Store	TEL.075-532-1125

⑨ 和装小物 井澤屋	[営業時間] 10:30～20:00
Izawayaya	TEL.075-525-0130

⑩ レストラン レストラン菊水	[営業時間] 10:00～22:00
Restaurant Kikusui	TEL.075-561-1001

四条繁栄会・北側	
⑪ 創作園履物 伊と忠	[営業時間] 11:00～19:00
Itochu	TEL.075-221-0308

⑫ 京ごぶく 糸り善	[営業時間] 10:00～18:00
Erizen	TEL.075-221-1618

IKEBANA EXHIBITION Street Gallery

⑬ 京料理 四条 御旅町 田ボと	[営業時間] 11:30～21:00
Tagoto	TEL.075-221-1811

⑭ 化粧品雑貨・食品 よーじや四条河原町店	[営業時間] 10:00～22:00
Yojiya_shijokawaramachi	入店・注文は21:00まで TEL.075-708-6678

⑮ 茶道具・漆器 龍善堂	[営業時間] 11:00～18:00
Ryuzendo	7/15は定休日ですが作品はご覧いただけます TEL.075-221-2677

⑯ つげ櫛 十三や	[営業時間] 10:30～19:30
Jusanya	TEL.075-211-0498

⑰ 甘栗 林万昌堂	[営業時間] 15・16日▷10:00～20:00
Hayashimanshodo	17日▷ 9:00～19:00 TEL.075-221-0258

⑱ 布地販売 ノムラテーラー	[営業時間] 10:00～19:00
NOMURA TAILOR	TEL.075-221-4679

⑲ 京人形 田中彌	[営業時間] 10:00～19:00
Tanakaya	TEL.075-221-1959

⑳ 大丸京都店	[営業時間] 10:00～20:00
Daimaru Matsuzakaya Department Stores Co.Ltd.	TEL.050-1790-3000

四条繁栄会・南側	
㉑ 京都信用金庫本店	[営業時間] 9:00～15:00
THE KYOTO SHINKIN BANK	(ATM 7:00～23:00) TEL.075-221-1111

㉒ 京都高島屋 S.C.(百貨店)	[営業時間] 10:00～20:00
Kyoto Takashimaya S.C.	TEL.075-221-8811

㉓ 袋物・小物 俵屋	[営業時間] 10:00～18:00
Tawaraya	TEL.075-221-2789

祇園商店街・南側	
㉔ 京つけもの 京つけもの西利	[営業時間] 11:00～18:00
kyo-tsukemono nishiri	TEL.075-541-8181

㉕ 茶寮 茶寮都路里	[営業時間] 10:30～21:00(予定)
Saryo Tsujiri	TEL.075-561-2257

㉖ 宇治茶 祇園辻利	[営業時間] 10:30～21:00(予定)
Gion Tsujiri	TEL.075-551-1122

㉗ 志ば漬の里 土井志ば漬本舗 祇園店	[営業時間] 10:00～20:00
Doi Shibazuke Honpo Gion Store	TEL.075-525-6116

㉘ 京菓子 京煎堂	[営業時間] 11:00～18:00
Kyosendo	TEL.075-541-1141